

# とんぼりニュース

道頓堀商店会報  
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局  
〒542-0071大阪市中央区道頓堀1-7-21中座くいだおれビルB1  
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764  
発行人：上山 勝也

2018年  
4月号  
Vol.150

2018年 3月28日  
発行

4・5・6月の興行ご案内

大阪松竹座

蘭く緒方洪庵 浪華の事件帳

誰にでも、守りたいものがある！  
若き日の緒方洪庵と在天の姫東儀左近。  
別世界に生きる二人は「天然痘を無くし  
たい」という同じ思いを持ち、大坂の闇  
を切り裂く。



5月6日(日)～13日(日) ※8日休演  
午前の部12時～ 午後の部17時  
原作：築山桂『禁書売り』北前船始末(双葉文庫)より  
脚本：松田健次 演出：錦織清 音楽：岸田敏志  
出演：藤山扇治郎 北翔海莉 荒木宏文 上田堪大 佐藤永典  
宮嶋麻衣 高倉百合子 ゆーとぴあピーエス 渋谷天笑  
丹羽真仁 笠原章 神保悟志 久本雅美 石倉三郎  
料金：等席1500円 一等席7000円 三等席4000円  
3月4日(日)より発売

OSK日本歌劇団 レビュー春のおどり

道頓堀の春を告げる掛け声は「春のおどりはーよーいやーいー」  
OSK日本歌劇団のレビュー公演です。

OSKの貴公子とトップスター高世麻央のさよなら公演。  
愛の花束、胸に抱いて高世麻央感動のフィナーレ。お見逃しなく。

【第一部】構成演出振付：西川真乃助『桜よみ夢草紙』

【第二部】演出振付：名倉加代子『One Step to Tomorrow』

5月19日(土)～27日(日) 昼の部11時～ 午後の部15時～  
料金：等席8500円  
一等席4500円

3月17日(土)より一般発売

お問合せ：チケットホン松竹  
057010001489



トリイホール

ぴっかり☆春一番！

春風亭ぴっかり☆を中心にしたフレッシュな若手  
女流芸人が集合。  
「ぴっかり☆とゆかいな仲間たち」が、堂々4時  
間半にわたって笑いの渦を巻き起こします！  
4月7日(土)  
15時開演(14時30分開場) 19時30分終演予定  
出演：春風亭ぴっかり☆  
ゲスト：桂ほんぼ娘 露の眞 露の紫 月亭天使  
桂鞠輔 桂二葉 露の瑞  
笑福亭縁 月亭八織 露の陽照  
料金：2500円  
お問合せ：トリイホール  
06162112506



道頓堀ZAZA

吉田食堂 PRESENTS  
扇辰ごころ、ふたたび

4月18日(水) 19時開演  
出演：入船亭扇辰 桂二葉  
料金：前売3000円 当日3500円  
お問合せ：吉田食堂  
061509614659



千日亭(トリイホールの階下)

浪花ともあれ浪曲三人舞台

堅苦しいイメージの浪曲を「わかりやすく」「面  
白く」をモットーに日々講壇に立つ京山幸枝若  
と、関西を中心に活動しながら世界にも活動を  
広げている春野恵子、そして京山幸枝若の弟子  
である京山幸太の3人による浪曲会。  
4月24日(火) 5月29日(火) 6月19日(火)  
19時開演  
出演：京山幸枝若 春野恵子、京山幸太  
曲師：一風亭初月  
料金：前売2500円 当日2800円  
お問合せ：トリイホール  
06162112506



道頓堀SUPER歌謡劇場  
心に響く!!昭和の流行歌

4月17日(火)13時～16時30分  
(各公演で部歌謡内容が変わる場合があります)  
出演：中村泰士(フクロユース) 生駒尚子  
おおい大輔 浅田あつこ  
チョ・ジョンミン 笑福亭笑利(紙切り・よ  
しもとくりえい)いぶ(エー・ジェンシー)  
料金：2500円  
お問合せ：061508150815080  
(道頓堀SUPER歌謡劇場実行委員会)

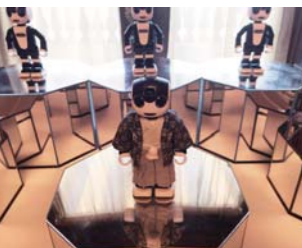


## 万博調査団が来阪、地元の熱意が伝わりました。

政府が大阪誘致をめざす2025年開催の万博につ  
いて、博覧会国際事務局(BIE)の調査団が3月5日に来  
日、7日に来阪し、8日は開催予定地・夢洲の視察、地元  
代表者との昼食会、夕方には船で遊覧しながら道頓堀に  
来られ、万博への市民の盛り上がりなどを調査しまし  
た。昼食会ではロボット・ロボホンのダンスやキティちゃん  
のキャラクターがもてなしました。参加した上山会長をは  
じめ道頓堀商店会の役員も、テーブルを共にした各調査  
員に大阪人のホスピタリティや大阪のくいだおれ文化を  
おおいにアピールし、好評を得たようです。夕方はあいに  
くの雨で、視察団一行の到着まで1時間以上も待たされま  
したが、ミニミ全体から集まった人々約1000人が歓  
迎イベントに参加しました。  
視察団は会場構想案や資金計画など14項目を調査  
し、5月にも報告書を作成。これは、BIE加盟国  
(168カ国)が万博開催国を決める投票の際に重要な  
参考資料となるものです。誘致に向けた地元の熱意も  
重要な項目で、この点では大阪はどの都市にも負けないで  
しよう。  
パリが撤退した後、ライバル都市はロシアのエカテリンブルグとア  
ゼルバイジャンのバクーですが、11月の決定まで熾烈な誘致合戦にな  
るでしょう。道頓堀をはじめミニミの町、商店街が一致協力し、「道頓堀  
川万灯祭」、「道頓堀盆おどりインターナショナル」、「道頓堀川面舞  
台」など、さまざまな機会を捉えて「2025大阪万博」をアピールし  
ていきたいと思えます。会員の皆さまのご理解、ご協力、さらに積極的  
な参加をいただきますよう、お願いいたします。



▲BIE視察団8名を迎えての昼食会。当商店会役員をはじめ地元の代表者と共に記念撮影。



▲昼食会では、ロボット電話・ロボホンがダンスで歓迎。



▲歓迎イベントのステージでは、Gottaの「たこ焼き乃丞」も登場。



▲雨の中、ミニミ各地域から大勢の方が歓迎イベントに参加してくれました。

## ホームページを更新しています。

平成27年(2015)3月にリニューアルした当  
商店会ホームページは、毎月のページビューが約4  
～5万回を維持しながら4年目を迎えました。イン  
バンド観光客の増加に伴い、新店舗の開店、また  
退店の変動も激しく、毎回数多くの更新をしていま  
す。今回は、クリックすれば詳細情報が現れる「商店  
会マップ」も更新する予定です。更新対象の各店舗  
には「店舗情報」をご提供を願っていますが、未  
提供の店舗の皆さまには  
早急にご対応をお願いし  
ます。  
英・中・韓の3カ国語に  
翻訳され、スマホからもア  
クセスしやすく、外国人観  
光客にも親しまれるHP  
をめざしています。ご期待  
ください。



## 環境浄化パトロールにご参加を!!

毎日たいへんぎわつ商店街ですが、万々さまざまな環  
境問題が発生しています。特に、悪質な客引き、違法駐輪  
自転車、はみ出し看板などが層ひどい状態になりつつあ  
ります。  
当商店会では、毎月第2・  
4金曜 午後5時から近隣  
商店会と合同で、環境浄化  
のパトロールを実施してい  
ます。各回のパトロールの案  
内はファックスでお知らせし  
ていますが、会員の皆さまに  
は、積極的に参加いただき  
ますようお願いいたします。



日本コナモン協会  
設立15周年方針発表会

3代目コナモン大使「蛸半夏生  
シヅク」新曲ライブ、570人前の  
「道頓堀焼きそば」振る舞います！  
設立15周年を機に「日本コナモン協  
会」は一般社団法人となりました。  
今後の活動発表や、ミニライブ、蛸  
と難波葱の道頓堀焼きそばの振る舞い  
を行います。  
3月30日(金) 12時～  
場所：なんばグランド花月前広場  
出演：千田忠司(大阪活性化事業実行  
委員会委員長)  
熊谷真葉(日本コナモン協会会長)  
近藤利樹(3代目コナモン大使) ウクレ  
レ奏者 ニーミュージックほか  
お問合せ：日本コナモン協会 熊谷真葉  
090-8125185836

## 2018年 4月の行事予定

- 13(金) 四商店会合同パトロール(予定)  
17時～ 戎橋交番前
- 16(月) ミナミまち育てネットワーク  
街づくり委員会  
10時30分～ まち育て事務局
- 24(火) とんぼりパークウォーク 賑わい創出連絡会  
10時～ スポタカ  
四商店街代表者会議
- 14(時) 戎橋商店街振興組合
- 25(水) 4月度定例役員会  
16時～ 事務局
- 27(金) 四商店会合同パトロール(予定)  
17時～ 戎橋交番前

時の人・インタビュー

文楽の時代の齒車になりたい

「文楽」と聞いてまず思い浮かべるのは、生きているかのように動く人形ではないでしょうか。人形に命を吹き込むのが人形遣い。それは「職人技」という吉田幸助さん。五代目玉助の襲名を控えた今、先代から受けた厳しい修行時代の思い出や「うめだ文楽」などを通して開拓する新しい文楽のこれらについてお話を伺いました。(聞き手・中田真弥子)



プロフィール

吉田 幸助 (よしだ こうすけ)

人形浄瑠璃文楽座・人形遣い。1966年(昭和41年)大阪生まれ。父・玉幸に弟子入りし、朝日座で初舞台を踏む。近年は大役をつとめる機会も多く、「咲くやこの花賞」、「大阪文化祭奨励賞」などを受賞し、注目を集めている。文楽四月公演での「本朝廿四孝 勤助住家の段(ほんちょうようじゅうしこう かんすけすみやのだん)」で「五代目吉田玉助」を襲名となる。玉助の名跡が復活するのは祖父の三代目吉田玉助以来53年ぶり、四代目吉田玉助は亡父・玉幸氏に追贈する。

―世襲制ではない文楽ですが、子供の頃から人形遣いを志していたのでしょうか？

自然に側で文楽がある、という感じでした。14歳で父に弟子入りしましたが、「お前みたいな甘ちゃんに務まるか」と大反対されました。入ったからは師匠と弟子ですから、ずっと敬語です。劇場で雑用をこなして帰ってきたら、家でまた説教されて、怒られていました。文楽が好きだから苦にはなりませんでしたが……。

2007年に亡くなった父の玉幸は今も追贈という形で「四代目玉助」となりました。追贈は文楽の世界では初めてのことで。



▲父・玉幸さんと。

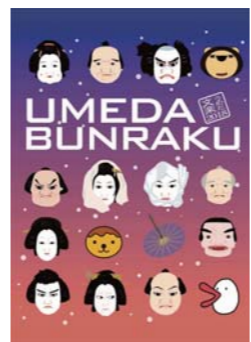
―修行はやはり大変でしたが、人形遣いは、最初は足遣い、次に左手を操る左遣い、そして右手と首

を操る主遣いと稽古をしながらできるようになっていくのですが、足と左は主遣いの思うように動けなければなりません。父の主遣いに足で付いていた時、出来ないと言った。父も怒られました。そばにいる太夫さんにとっては、うるさかったのだと思うのですが、竹本住太夫師匠が「お父さん、大丈夫か」と言っていて、それだけでもありました。人形遣いは修業が長いんです。20年、30年は下働き。格好のいい若い子もいますが、文楽のスターはおじいさんになってからですから(笑)。



▲父・玉幸さんは強面(こわおもて)だったので「鬼瓦」と言われることも。

基礎が大事なんです。古典ができてこそ、新しいことができる。これだけ続いていた文楽をめちゃくちゃにしたら僕らの責任です。後の世代にきちんと伝えていきたい。「文楽の時代の歯車」になりたいと思っています。



▲各局のマスコットと文楽人形が並ぶ

―伝統を重んじる一方で、劇場を飛び出して、「うめだ文楽」なども積極的に携わっておられますね。

在阪のテレビ局が主催して、梅田のグランフロントで行っています。文楽を題材にした小説を書かれた作家の三浦しんさんや、タレントの水戸なつめさんをゲストに迎えました。ポーカロイドの義太夫で演じたこともあります。私なりの新しい層に向けての普及活動ですが、新しいお客さんにもっと文楽を見て欲しいと思っています。



▲スマホで情報チェックしながら辿り着く人も。

―五代目玉助の名前を継ぐに当たって、これから自身でやりたい役などはありますか？

何でも出来なければいけないのが人形遣いですが、立役と言われる男の人形は大きくて重いので体格のいい人がやる人が多いですね。私も180cmあります。

文楽は「型」がとても大事です。特に時代物は型のオンパレード。スケールの大きな立役として知られた三代目も「菅原伝授手習鑑」の松王丸や「ひらかな盛衰記」の樋口は最後まで手放しませんでした。そういった豪快な役どころを掴み取っていききたいですね。

◆国立文楽劇場

4月7日(土)～30日(月休)  
「4月文楽公演」  
吉田幸助改め五代目吉田玉助 襲名披露  
第一部「本朝廿四孝」 11時間開演  
桔梗原の段  
吉田幸助改め五代目吉田玉助 襲名披露  
口上・景勝下駄の段  
襲名披露 狂言 勤助住家の段  
「義経千本桜」 道行初音旅  
第二部「彦山権現誓助剣」 16時間開演  
須磨浦の段 瓢箪棚の段  
杉板臺所の段 毛谷村六助住家の段

道頓堀街づくり情報 街の市場から世界の市場へ(黒門市場)

外国人観光客にとって大阪の楽しみといえば「食」があります。大阪の台所として親しまれる黒門市場、最近ではたくさん外国人客で賑わっています。社会環境がめまぐるしく移り変わる現代、その変化をどう読み、商店街をどのように発展させるのか、黒門市場の「対応策」についてお話を伺いました。



▲朝から2時くらいまでの人出が多い。

―外国人観光客で盛り上がる黒門市場ですが、いつから対策をされていたのでしょうか？

2012年頃からインバウンドのお客が増えました。コンサルタントなどを入れて仕掛けたのではなく、元々は軒の魚屋さんが、観光客の方がその場で食べられるようにスペースを作ったのが始まりです。それが評判になり、広がっていきました。2014年には座って食べられるように商店街の中に休憩所を設置し、2016年には手荷物



▲南側にある「黒門」寺の山門から名付けられたという。

預かりが出来るインフォメーションなども開設しました。休憩所に置いてあるガチャガチャが人気で、よく稼ぎます。コップに付ける「フチ子さん」や猫のキャラクターがよく出ますね。



▲休憩所でくつろぐ人々。

―どの国からの観光客が多いのでしょうか？

ほとんどはアジアですね。特に台湾が多い。それから中国・韓国・マレーシアなど。これらの国では食べ歩き文化が浸透しているので、そ



▲真剣な顔で品定め。

―人気の商品はありますか？

元々半分以上を鮮魚の店が占める黒門市場なので、カニやホタテ、マグロなどは人気ですね。海鮮丼などもよく出ています。



▲スマホで情報チェックしながら辿り着く人も。

―市場として取り組んでいることありますか？

あとは日本の甘いフルーツはすごい人気で、小分けしたのもや、まるごとのメロンを使ったジュースなどは行列ができています。

―市場として取り組んでいることありますか？

外国人のお客さんへの対応、ホスピタリティの向上ということで、会員が集まって英会話教室を開いています。もう3年ほど毎週続けているので、店の商品についての説明や道案内などはかなりできるようになりました。

中国語圏の人が多ければ、中国語でいいじゃないかと思われるかもしれませんが、中国も韓国も他の国の人も英語をかなり話せるんです。

―市場の客層が変化していく中で、難しいことはありますか？

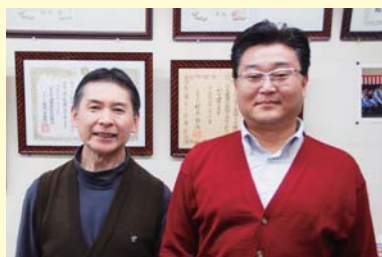
従来のお客様からは「高くなった」「種類が減った」といった声があるのも事実です。

インバウンド用の商品と日常の食品は違います。カニの足を普段はあまり買わないでしょう。単価の高いインバウンド向けの商品に押されて扱いは減る商品もあります。普段のお買い物をしてくださる方向けには、スタンプを集めて旅行やお買い物が当たる抽選などのイベントを行っています。

―市場として取り組んでいることありますか？

最近では国内のバスツアーでも黒門市場を訪れる方が増えています。インバウンドブームがいつまで続くかはわかりませんが、内外の観光客向けにシフトをしていく、という商店街の活性化に向けた自分たちの考えがないとダメです。

インバウンド以前は来客売上も減少傾向で、苦難の時もありました。今やっとなら先が見えてきた。時代の流れに合わせて、従来のお客様を大事にしながらも観光対応の出来る人を育て、魅力ある市場にしていきたいですね。



▲黒門市場商店街振興組合 副理事長 吉田清純さん(左) 事務局長 國本見生さん(右)